

# 退教互会報

一般財団法人 岩手県退職教職員互助会

〒020-0022 盛岡市大通一丁目1-16岩手教育会館4階 ☎019(623)3300(代) ホームページ: <http://iwatetai.webcrow.jp/>  
発行・編集責任者 高橋道明



奥松島（大高観光ホテル前）にて

## 目次

ご加入の健康保険が変わったら／	
3割負担と住民税非課税世帯の皆様へ……………	2
財政検証状況～現職会員拡大に向けて～……………	3
歯科受診時取り扱い手数料の変更／	
地区活動交流会報告／岩手県教互センターより…	4
釜石地区活動報告……………	5
公益文化事業・囲碁大会……………	6
おくやみ欄……………	7
満100歳を迎えられた方々／	
陳情行動／あとかぎ……………	8

## 思い出の“フォト”

退教互釜石地区会の研修旅行。

東日本大震災の被災地で、日本三大溪（岩手県の狛鼻溪、大分県の耶馬溪、宮城県の嵯峨溪）の一つである奥松島・嵯峨溪を潮風、しぶきを浴びながら船で遊覧しました（波が高く、次の便から欠航になりました……。）

## ご加入の健康保険が変わったら・・・

毎年4月は、退職、就職、任意継続期間終了等でご加入の健康保険が変わる方が最も多い時期です。ご加入の健康保険が変わった方は、必ず退教互へ「新しい保険証のコピー」の送付をお願いします。

なお、ご加入の健康保険が変わると、病院・薬局等へ提出する「診療報酬請求書」への記入内容も変わります。必ず新しい健康保険証の区分と記号番号、保険者番号のご記入をお願いします。また、健康保険が変わって診療報酬請求書の記入の仕方が分からない方はお気軽にお問い合わせください。

ご加入の健康保険によっては、退教互からの給付の受け方、受診の要領が変わる場合があります。新しい保険証の交付を受けられましたら、速やかにお届けください。

## 住所・電話番号等変更はありませんか？

お届けいただいている住所に現在住まれていない方や電話が不通の方が年々増えており、退教互からの送付書類やお問い合わせが出来ず大変困っております。

住所、電話番号が変更になった際は必ず退教互へご連絡をお願いします。

## 3割負担と住民税非課税世帯の皆様へのお願い

### ● 3割負担の皆様へのお願い

高額療養費の自己負担限度額を超える医療費の支払いが生じた場合でも、病院の窓口で自己負担限度額までの支払いで済む取り扱いが開始されています。

自己負担限度額は、年齢と所得によって異なり、69歳以下の方は5段階、70歳以上の方は3段階に区分されています。

その為、自己負担限度額までの支払いで済む取り扱いを受けるためには、それぞれご加入の健康保険へ申請し「限度額適用認定証」の交付を受け、病院・薬局等へ提示することが必要です。

また、退教互にもそのコピーのご送付をお願いします。

### ● 住民税非課税世帯の皆様へのお願い

住民税の非課税世帯に該当する皆様には、自己負担限度額の軽減と食事療養負担金や生活療養負担金の減額措置が講じられています。

但し、その減額措置の適用を受けるためには、ご加入の健康保険から「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受け、病院・薬局等へ提示することが必要です。

また、退教互にもそのコピーのご送付をお願いします。

# 財政検証状況

～現職会員拡大に向けて～

What's  
退教互?

岩教組、高教組組合員であるのに退教互の「現職会員」になられていない方がたくさんいるという課題解決に向け、退教互事務局では、分会や各専門部などの集会にお邪魔して「退教互学習会～What's退教互?」を実施しています。今年度はこれまでに20回実施することができました。



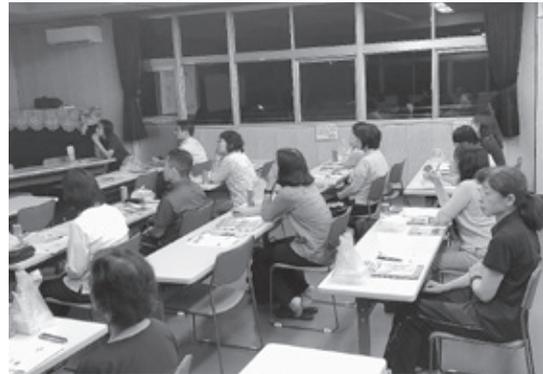
いわい支部現職退職交流会



下閉伊支部豊間根中分会



いわい支部教研集会



南リアス支部大船渡支会



## 【参加者からの声】

- 「掛金は掛け捨てだと思っていました。もっと早く入れればよかった。」
- 「今まで入らなかった理由は特にありません。今日入ります。」
- 「積立金は戻ってこないと思っていた。早く入れれば掛金が少なくて済むとは知らなかった。」
- 「とても分かりやすく今までよく分かっていなかったことが分かりました。退職者の体験談が具体的で説得力がありました。」

退教互の療養費給付システムは、日本の社会保障制度のように、高齢者の給付を現役世代の保険料で賄う「仕送り方式（賦課方式）」とはちがうことを知っていただくよい機会となっています。学習会はご要望があればいつでもどこにでも出かけます。

## 歯科受診時の取り扱い手数料の変更について ～ 2020年4月1日から 220円(税込)へ～

昨年10月の消費税増税に伴い、歯科受診時の手数料が4月1日より変更になります。

現在、受診月に1回「請求事務手数料」として、200円または220円を会員の皆様にご負担いただいておりますが、昨年8月に岩手県歯科医師会から連絡があり、各歯科医院に税務署の指導が入り、統一性を求められ混乱を招いている状況とのことでした。

その後、岩手県歯科医師会と幾度か話し合いを持ち、220円(税込)で対応することとなりました。会員の皆様へお知らせをすると共にご理解、ご協力をお願いいたします。

## 2019年度地区活動交流会の報告



退教互の年間行事に各地区の代表の方にご参集いただき、各地区の活動の様子や状況報告、活動課題についての意見交流等を行い、今後の本部・地区活動等の参考にする場を設けております。

今年度は、2019年11月26日(火)に開催し、18地区の事務局長さん全員のご出席をいただき、下記の報告がありました。

課題の現状	<b>【報告された課題】</b> ①新会員(退職者)の活動への参加が少ない。再任用される会員がほとんどで日中はもちろんのこと、週末もクラブ活動の指導などで参加できないでいる。 ②地区事務局員の固定化、高齢化。 ③地区活動への参加者の固定化、広がりが見られない。 ④地区内の班長などの役員を引き受けてくれない。 ⑤組合組織の再編により、活動の拠り所となる組合支部が遠く広範囲になってきている。
今後に向けて	①毎年開催の「地区活動交流会」が単に「報告会」となっているので、抜本的対策を語り合う場が必要である。 ②現職のうちに「退職互助活動」への理解啓発を行うため、各地区事務局が学校訪問を行い、会員拡大とともに、現状の報告と将来への活動協力への理解を得る活動を行う。 ③組織財政基盤の安定化に向けて、会員による「現職会員の拡大」に対する協力が必要である。
その他	①会員の減少により、「全教互陳情署名」への署名者数が減ってきている。 ②互助会の事業の中心である「医療費給付」は政治的影響を受ける性質のものであるが、年々会員はその意識が薄くなってきているように思われる。

### 岩手県教互センターより【共通旅行利用券 取扱旅行会社の変更について(お知らせ)】

岩手県教職員互助会事業の共通旅行利用券(退職慰労記念品)をお持ちの会員の皆様にお知らせです。

取扱旅行会社のJTB盛岡支店より「諸般の事情で、共通旅行利用券の取り扱いについて、2020年3月末日をもって終了したい」との申し出がありました。2020年4月1日以降は、JTB盛岡支店、同奥州オフィス、イオンモール盛岡店、盛岡南店、下田店、八戸イトーヨーカドー店で利用はできません。なお、新たに盛岡市のみちのリトラベル東北、奥州市の水沢ツーリストサービス、大船渡市の岩手開発観光と契約を結び、共通旅行券の利用が可能となりましたので、お知らせいたします。

ご不明な点は、岩手県教互センター株式会社(Tel. 019-623-4432)までお問い合わせください。

# 釜石地区活動報告

釜石地区会では、今年度9名の新会員を加え、222名で、5つの行事（研修旅行・学習会・グラウンドゴルフ大会・囲碁大会・新春親睦交流会）を中心に活動しています。5つの実行委員会をつくり、各実行委員会・理事会で立案計画（反省）し、班長等を通じ、案内の配布、口コミによる参加勧誘等を行ってきました。

会員の声を聞きながら前年の反省をいかし、「参加したい」「参加して良かった」「次回も出て見たい」と思われるような内容にして行なってきました。

## 1 研修旅行

- ・趣旨 退教互会員のバスによる1泊2日の研修旅行で見聞を広め元気回復を図り会員相互の親睦交流を深める。
- ・期日 令和元年7月3日(水)～4日(木)
- ・目的地 宮城県奥松島・嵯峨溪（遊覧船）、塩竈神社 秋田県増田の町並・秋田ふるさと村
- ・宿泊地 鳴子温泉・幸雲閣 0229-83-2329
- ・運営 研修旅行実行委員会
- ・参加者 男7名 女2名 計9名
- ・日本三大溪の一つの、奥松島の嵯峨溪を遊覧、塩竈神社、増田の蔵、商家の町並み、秋田ふるさと村を見学。奥松島の嵯峨溪は、見に行くことが少ないので、潮風を浴びながらの遊覧は大変よかったです。年相応の目的地、高齢者も参加できる行程・日程を設定するのが良いのではないかと（歩く距離が短いところ）。



## 2 学習会

- ・趣旨 高齢者福祉サービスや市町村からの依頼により、年金から介護保険料など特別徴収されていますが、どのような内容でどう関わりがあり、どのような方法で、どう利用すればよいのかを理解し、今後の生活の在り方を考える。
- ・期日 令和元年9月26日午後1時30分～
- ・会場 釜石教育会館 3階ホール
- ・演題 高齢者福祉サービスと介護保険制度について
- ・講師 釜石市保健福祉部高齢介護福祉課 課長補佐兼高齢介護係長 佐々木義友氏
- ・運営 学習会実行委員会
- ・参加者 男11名 女9名 計20名
- ・介護保険のわかりやすい利用の手引きのパンフレットを用いながら説明を受け、合間合間に質問時間を設けたのが良かった。高齢者福祉サービスは、市町村で若干異なるので、市町村の担当課等に確認が必要とのこと。内容について、いくらか理解出来たのではなかろうか。

## 3 第13回グラウンドゴルフ大会

- ・趣旨 退教互会員の福利厚生・健康づくり・体力増進を図り、グラウンドゴルフ大会を通じて会員相互の連帯感を深め、交流と親睦を図る。

- ・日時 令和元年10月9日午前9時20分～
- ・会場 日向運動公園（鶴住居町）
- ・運営 グラウンドゴルフ大会実行委員会
- ・参加者 男12名 女2名 計14名
- ・雨天で一日順延し行う。日程を変更したことで参加者の減少が少なく、また、晴れて良かった。

## 4 囲碁大会

- ・趣旨 会員相互の交流と親睦を図る。連帯感を強める。
- ・日時 令和元年10月17日午前9時～
- ・会場 釜石教育会館 3階ホール
- ・運営 囲碁大会実行委員会
- ・参加者 男5名 女2名 計7名
- ・県大会代表 段位戦 山崎恵一  
級位戦 柏木功好  
女流戦 高橋幸子 菊地恵美子
- ・囲碁愛好者に開催案内（文書）を出し、また学習会等に案内文書を配布。少数精鋭で実施。囲碁愛好者の減少等、参加の呼びかけを随時行い、参加人数を減らさないようにしていきたい。



## 5 新春親睦交流会

- ・趣旨 新年を祝いながら会員相互の交流親睦を図る。
- ・日時 令和2年1月15日午前11時～
- ・会場 釜石教育会館 3階ホール
- ・内容 スカットボール（グループ対抗）  
じゃんけん（お山の大将）  
百人一首（源平）
- ・運営 新春親睦交流会実行委員会
- ・参加者 男8名 女4名 計12名
- ・スカットボール（4チーム対抗戦）競技前の空き時間を使っての練習、球の回収やライン上にセットする等、協力しあいゲームをスムーズに進めることができ、楽しいひと時を過ごすことができた。
- ・お山の大将のゲームのやり方について、丁寧な説明をすればよかった。
- ・百人一首（源平）の経験がない方もいたが、源平合戦のやり方を覚えゲームをすることができ良かった。
- ・「こんなに笑ったのは久しぶりだ」「来年も参加する」等の声を聞きとても嬉しく感じました。



# 2019年度 公益文化事業



公益文化事業は、岩手教育会館、岩手県教職員互助会、岩手県  
高校教育会館との共催により、9月「いしがきミュージックフェ  
スティバル」11月「岩手教育芸術祭美術展、岩手県婦人合唱発表  
会、国井雅比古・講演会」を開催し、沢山の方々にご来場いた  
だきました。



## 第48回岩手教育芸術祭美術展入賞者（敬称略）

	絵画	書道	写真
芸術祭賞	佐藤 英子（奥州市）	横田 朗子（北上翔南高）	達下 才子（黒沢尻北高）
優秀賞	田中館隆雄（滝沢市） 浅利 文子（奥州市）	藤岡 宏章（黒石野中）	澤田 昭博（盛岡市）
奨励賞	阿部 佳則（盛岡市） 小山 ヒサ（盛岡市） 溝口 昭彦（盛岡市） 砂金 文昭（一関市） 横井 邦彦（二戸市）	八木橋哲男（盛岡市） 八木橋ひろみ（盛岡市） 石村 廣志（盛岡市） 寺崎 良謙（黒沢尻北高） 北田 聖子（盛岡市立高）	北井崎 昇（盛岡市） 瀬川 誠孝（花巻市） 遠藤 政美（奥州市） 千田 久（奥州市） 永盛 明夫（大船渡）

## 第37回全国教職員囲碁大会 岩手県予選 / 全国大会



（岩手県予選対局風景）

標記県予選は、2019年11月6日に岩手教育会館を会場に開催さ  
れました。各地区からの選抜及び推薦者42名（無差別7名、段位戦27名、級位戦8名）の参加によっ  
て、白熱した戦いが繰り広げられ、以下の方々が入賞されました。

その結果、本年1月6日に日本棋院会館で開催された全国大会には、各部門の優勝者3名が出場さ  
れ、残念ながら入賞者はおりませんでした。県代表としてご健闘されました。

### ●岩手県予選入賞者

	名人戦の部	段位戦の部	級位戦の部
優勝	菅原 寛一 六段（胆沢）	佐々木睦雄 四段（和賀）	柏木 功好 1級（釜石）
準優勝	皆川 修 六段（東磐井）	鈴木 明 二段（東磐井）	高橋 俊一 1級（胆沢）
第三位	馬場 雄三 六段（稗貫）	今野 龍雄 三段（気仙）	千葉 文好 1級（盛岡）
//		平野タマ子 初段（和賀）	

■おくりやみ申し上げます<敬称略>

会報90号掲載以降の方々です。退教互から香奠を給付し、ご冥福をお祈り致しました。

【盛岡地区】		
三田	建	2019年
中村	て	3月 5日
内旗	達	4月26日
白原	幸	7月14日
小藤	つ	7月17日
工瀬	と	8月 7日
川川	と	8月16日
及吉	明	8月26日
遠大	彦	8月29日
中石	次	8月31日
野本	司	9月14日
中野	良	9月15日
葉葉	キ	9月16日
又仲	一	10月 3日
中山	尚	10月 4日
西池	武	10月14日
野野	正	10月16日
西二	二	10月18日
皆千	三	10月31日
田千	郎	11月 2日
田邊	正	11月14日
高野	三	11月15日
石橋	郎	11月24日
伊藤	夫	11月29日
藤木	文	12月12日
和田	道	12月13日
和佐	玲	12月16日
杉藤	子	12月16日
米内	治	12月17日
紺野	夫	12月19日
藤名	悦	12月21日
高橋	吉	12月26日
川々	幸	12月27日
木池	新	2020年
地橋	靖	1月 5日
菅原	達	1月 8日
澤澤	将	1月13日
藤川	甫	1月14日
菅地	成	1月17日
橋原	子	1月20日
利久	雄	1月23日
平平	子	1月26日
子子	子	1月31日
一令	久	2月 2日
一令	平	2月 8日
一令	子	2月11日
一令	一	2月18日
【岩手地区】		
松村	二	2019年
角藤	子	7月11日
角掛	助	9月10日
角館	久	9月28日
千葉	健	2020年
千葉	晃	1月 4日
千葉	晃	1月18日
【紫波地区】		
川崎	逸	2019年
藤原	子	8月 1日
藤澤	子	8月24日
金子	子	9月 6日
野澤	子	9月20日
須原	昭	10月 2日
賀智	恵	10月 8日
上原	米	11月 1日
野洋	太	11月 4日
清水	昭	11月 8日
高橋	彦	11月 8日
(矢巾北中学校)		
佐古	平	11月12日
木喜	治	11月20日
館清	四	12月22日
鎌田	稔	2020年
福島	一	1月 7日
藤澤	淑	1月23日
藤澤	彌	2月18日
【稗貫地区】		
佐藤	行	2019年
佐藤	儀	8月 9日

【稗貫地区】		
箱崎	子	2019年
池鎮	章	8月26日
平賀	久	9月 7日
金野	雄	9月21日
照野	子	10月13日
関井	武	10月17日
安部	武	10月18日
高橋	工	10月23日
石川	雄	10月28日
(花巻北高校)		
安藤	秀	10月28日
大森	夫	10月28日
佐藤	弘	11月23日
小藤	あ	2020年
小澤	子	1月13日
吉田	良	1月16日
吉田	彰	1月23日
吉田	美	1月26日
吉田	徳	2月 8日
【和賀地区】		
菊池	直	2019年
及川	恒	8月15日
小笠	保	8月29日
高橋	夫	9月15日
伊藤	四	9月21日
小原	智	10月17日
長根	子	10月24日
八重	林	10月27日
伊藤	ノ	11月 3日
鈴木	克	11月11日
葛西	宗	11月12日
高橋	義	11月12日
高田	フ	11月15日
高橋	ミ	11月27日
高橋	昭	11月27日
須川	静	12月 4日
川口	仁	12月19日
渡邊	志	12月22日
高橋	登	12月28日
高橋	節	2020年
高橋	節	1月 9日
高橋	節	2月17日
【胆沢地区】		
千林	暢	2019年
美榮	夫	7月28日
藤子	子	8月23日
田榮	子	9月 1日
吉田	均	9月21日
及川	末	9月30日
濱田	麗	10月14日
佐々	木	10月30日
高橋	子	11月10日
菅原	吉	11月24日
井上	権	12月 1日
上村	ト	12月18日
鈴木	勲	2020年
鈴木	文	1月 1日
鈴木	則	1月 8日
鈴木	子	1月18日
下田	静	1月23日
大槻	子	1月24日
阿部	二	2月 4日
三浦	ウ	2月 7日
三浦	キ	2月 9日
【江刺地区】		
紺野	清	2019年
菊地	紀	9月21日
山崎	栄	10月12日
高野	一	10月12日
高野	助	11月11日
高野	直	11月17日
【西磐井地区】		
菅原	哲	2019年
藤島	夫	8月18日
玉造	正	8月24日
舞草	俊	8月29日
大滝	和	9月 1日
佐藤	民	9月15日
佐藤	昭	10月26日
澤田	夫	10月30日
千田	愛	11月 4日
遠藤	子	11月 9日
遠藤	代	11月23日

【西磐井地区】		
伊東	榮	2019年
小野	司	11月25日
小野	仁	11月25日
菅原	元	12月 3日
小三	明	12月16日
鮫名	恵	12月22日
菅原	子	12月24日
島山	将	2020年
朴澤	悦	1月20日
小奥	新	1月21日
松川	里	1月26日
松川	次	1月27日
松川	志	1月29日
松川	志	2月 6日
松川	仁	2月 8日
【東磐井地区】		
小山	恵	2020年
伊東	和	1月 9日
穴戸	ト	1月12日
穴戸	ム	2月 3日
【気仙地区】		
小田	セ	2019年
佐藤	謙	7月16日
高橋	子	8月14日
高橋	育	9月26日
平山	恭	11月19日
佐々	茂	12月 6日
古水	洋	12月19日
千田	一	2020年
佐々	昭	1月17日
小笠	喜	1月18日
岡内	幸	1月23日
千葉	美	1月24日
千葉	勲	1月26日
千葉	勲	1月30日
千葉	勲	1月31日
【釜石地区】		
鈴木	洋	2019年
荻野	一	9月26日
朝岡	の	10月 3日
高橋	吉	10月27日
高橋	弘	11月18日
【遠野地区】		
菊池	春	2019年
菊池	枝	9月 8日
多田	郎	10月27日
菊池	生	10月29日
阿部	辰	11月27日
菅久	充	2020年
市川	太郎	1月16日
市川	次	2月 2日
市川	次	2月20日
【宮古地区】		
杉田	守	2019年
波岡	政	8月 3日
内館	子	8月26日
晴山	愈	12月 6日
晴山	宰	2020年
晴山	宰	2月 1日
【九戸地区】		
國丹	一	2019年
吉田	五	7月23日
吉田	輝	(久慈東高校)
吉田	輝	9月18日
川代	進	12月29日
村田	昭	2020年
村田	昭	2月 5日
【二戸地区】		
野辺	地	2019年
田口	夕	9月 8日
八木	工	9月20日
丸一	直	9月25日
江六	蔵	12月12日
下斗	前	2020年
下斗	光	1月14日
下斗	胤	1月18日
【東京地区】		
南谷	ヨ	2019年
平賀	シ	10月14日
平賀	子	10月29日
平賀	子	10月29日
【仙台地区】		
及川	一	2019年
大沼	二	11月12日
大沼	郎	11月17日
【滋賀県近江八幡市】		
熊谷	キ	2019年
熊谷	ミ	11月29日
【愛知県岡崎市】		
工藤	光	2019年
工藤	春	1月24日

**寿**  
**満100歳!!**  
**おめでとう**  
**ございます。**

第90号掲載以降、次の方々も100歳のお誕生を迎えられましたので、ご紹介いたします。



小山 やゑさん  
(東磐井地区)

大正8年10月1日生  
昭和53年3月  
千厩小学校退職

自営業の商店を手伝いながら、野菜作りに精を出し、大きな病もなく、3食しっかりと食べ、家族と一緒に元気に過ごしてきましたが、平成22年に施設入所をしました。時々訪問する地元の子供たちに会うと、昔を懐かしみ、笑顔でお話をしています。



及川和一郎さん  
(東磐井地区)

大正8年10月4日生  
昭和54年3月  
大原小学校退職

奥様と娘さんとの楽しい日々を自宅で過ごしています。農作業に精を出し、元気に過ごしていました。働きすぎのため腰痛を患い車椅子生活になりましたが、現職の頃に愛好したマージャンの話になると笑顔で話に花が咲き「今からやろうか」と声をかけていただきました。



千葉 和子さん  
(胆沢地区)

大正8年10月26日生  
昭和46年3月  
水沢小学校退職

お元気な日々をお過ごしで、趣味は日本画を描くこと。お部屋には絵が飾られており、多くの展示会で入賞を果たされたとか。また、99歳で個展を開かれたお話には、驚きでした。まだまだ創作活動に専念できているご様子でした。



菅原 アイさん  
(胆沢地区)

大正8年11月3日生  
昭和45年6月  
衣里小学校退職

とてもお元気なご様子で、自立して歩行されてました。長寿の源は、大好きな詩吟と好き嫌いなく食べる事と笑顔でお話をしてくださいました。趣味は、工芸作品、つぼとか花瓶を制作することだそうです。



千葉 テフさん  
(東磐井地区)

大正8年11月14日生  
昭和42年3月  
奥玉小学校退職

日常は、車椅子生活ですが、介護者の手を借りないで過ごされているようです。俳句の会に所属し月例会には欠かさず投稿しているとのこと。施設長曰く、職員に人生の先輩としてお話することもあるそうです。



瀬川 操さん  
(稗貫地区)

大正9年1月3日生  
昭和54年3月  
笹間第一小学校退職

ソファーに腰掛け、和やかに対応していただきました。しっかり受け答えができ、耳、目も達者。新聞を見ることも。死ぬ気がしないとご家族に話しているとか。長生きの秘訣はくよくよせず、好き嫌いなく食べ、規則正しい生活を送ることとか。



菅野イチヨさん  
(江刺地区)

大正9年1月4日生  
昭和51年3月  
長野小学校退職

少し耳は遠いものの補聴器をかけると普通に電話対応もできるということで、ご家族も安心して留守番をお願いできるそうです。長寿の秘訣は規則正しい生活をし熟睡すること。趣味は新聞を読むことで漢字、熟語に関するクイズが大好きなそうです。



鈴木 松子さん  
(西磐井地区)

大正9年2月12日生  
昭和42年3月  
舞草小学校退職

まっすぐ伸びた背筋、軽やかな足どり、ユーモアを交えた明るい声でお話する姿は百歳という年齢を感じさせませんでした。お相撲のテレビ観戦が大好き。長生きの秘訣は、毎晩の一杯の梅酒とよく噛んで食事することだそうです。

**陳情行動**

今年度も、現職・退職会員の皆様から「国民が安心して暮らせるための社会保障制度確立等を求める陳情」の署名活動にお取り組みいただきました。その結果、集約された署名簿の回収数2,742枚(回収率22.1%)で、署名者数は18,596人(全国集計では473,350名)となりました。

この署名簿を携え、昨年11月21日に全国の教職員互助団体からの陳情団と共に、政府・政党・関係国会議員への陳情を行いました。岩手退教互からは、湊 恵幸評議員、東京地区松淵 昂会長、菅井 綾人釜石地区事務局長、事務局澤田の4名が参加し、岩手県選出の国会議員への陳情も行ってきました。

陳情署名活動にお取り組みくださいました会員の皆様、ご協力ありがとうございました。

**あとがき**

今年は暖冬のまま春を迎えそうです。あればあったで困り、なければ過ごしやすい雪ですが、岩手は農業県ですので雪が少なければ農作物への影響が懸念されます。大型台風の襲来など自然災害の多発も心配です。会報90号で満百歳を迎えられた方々を5人紹介し、今号では8人の方々を紹介しました。みなさんお元気でなによりです。(み)